慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

| | |
|---|---|
| Title | 中鉢正美名誉教授略歴 |
| Sub Title | A chronology of Prof. Masayoshi Chubachi |
| Author | |
| Publisher | 慶應義塾経済学会 |
| Publication year | 1986 |
| Jtitle | 三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.78, No.6 (1986. 2) ,p.807(159)- 808(160) |
| JaLC DOI | |
| Abstract | |
| Notes | 中鉢正美教授退任記念特集号 |
| Genre | Article |
| URL | https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19860201-0159 |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 中鉢正美名誉教授略歴

| | |
|---|---|
| 大正９年12月 | 東京市芝区愛宕下町に父不二郎，母静の長男として生まれる。 |
| 大正10年８月 | 東京府荏原郡目黒村に転居 |
| 昭和２年４月 | 白金尋常小学校に入学 |
| 昭和８年４月 | 慶應義塾普通部に入学 |
| 昭和13年４月 | 慶應義塾大学経済学部予科に進学 |
| 昭和16年４月 | 慶應義塾大学経済学部経済科に進学 |
| 昭和17年４月 | 藤林敬三ゼミに参加 |
| 昭和18年10月 | 慶應義塾大学大学院特別研究生第一期開始 |
| 昭和19年４月 | 藤村幸子と結婚 |
| 昭和20年８月 | 長男正明誕生 |
| 昭和21年４月 | 慶應義塾大学経済学部助手　明治学院大学非常勤講師 |
| 昭和21年10月 | 慶應義塾大学大学院特別研究生第二期開始　中央労働学園嘱託<br>肺結核のため療養（昭和24年まで） |
| 昭和22年９月 | 次男憲二郎誕生 |
| 昭和23年９月 | 大学院特別研究生第二期修了 |
| 昭和24年12月 | 北鎌倉山之内に転居 |
| 昭和25年４月 | 厚生科学研究費による最低生活費と生活保護基準に関する調査研究（主査大河内一男）に参加 |
| 昭和26年４月 | 慶應義塾大学経済学部助教授　日本建築学会住宅困窮度の判定に関する小委員会委員 |
| 昭和27年９月 | 中央賃金審議会専門委員（労働省）厚生統計協議会専門委員（厚生省）太平洋問題調査会小委員会委員 |
| 昭和30年３月 | 統計審議会専門委員（行政管理庁）米価審議会専門委員（農林省）経済審議会専門委員（経済企画庁） |
| 昭和31年４月 | 社会政策学会幹事　東京歯科大学非常勤講師 |
| 昭和31年７月 | 医療保障委員（厚生省） |
| 昭和32年４月 | 慶應義塾大学経済学部教授 |
| 昭和33年５月 | 日本学術会議科学者の生活実態調査小委員会委員 |
| 昭和33年12月 | 臨時家内労働調査会委員（労働省） |
| 昭和35年３月 | 慶應義塾大学経済学博士（学位論文「家庭生活の構造における履歴効果」） |
| 昭和35年11月 | 中央社会福祉審議会委員（厚生省） |
| 昭和36年１月 | 慶應義塾大学産業研究所所員 |
| 昭和36年４月 | 婦人少年問題審議会委員（労働省）平和経済計画会議専門委員 |
| 昭和36年６月 | 児童福祉審議会臨時委員（厚生省） |
| 昭和36年８月 | 農政審議会専門調査員（農林省） |
| 昭和37年３月 | 国民生活向上対策審議会専門委員（経済企画庁） |
| 昭和37年５月 | 全国自治体病院協議会財政委員会委員 |
| 昭和38年４月 | 資源調査会専門委員 |
| 昭和39年２月 | ミシガン大学日本研究センター等に慶應義塾派遣留学（昭和40年１月まで） |

| | |
|---|---|
| 昭和40年３月 | 三男洋夫（ひろお）誕生 |
| 昭和40年４月 | 社会保障研究所専門委員 |
| | この年から５回にわたり，川崎，北会津（昭和41年），掛川（昭和43年以降）で生活周期と家計を中心とした実態調査を実施 |
| | 地域開発研究所理事　原爆医療審議会委員（厚生省） |
| 昭和41年３月 | 厚生省公衆衛生局による原爆被爆者生活実態に関する面接調査を広島で行う |
| 昭和41年４月 | 家内労働審議会委員（労働省） |
| 昭和41年５月 | 再び目黒に転居 |
| 昭和42年９月 | 公衆浴場入浴料金協議会委員（東京都） |
| 昭和42年10月 | お茶の水女子大学家政学部非常勤講師 |
| 昭和44年４月 | 環境衛生適正化審議会委員（東京都） |
| 昭和44年６月 | 慶應義塾大学通信教育部長 |
| 昭和44年11月 | 慶應義塾大学経済学部長（昭和46年９月まで） |
| 昭和45年３月 | 学術審議会専門委員（文部省） |
| 昭和47年６月 | 婦人に関する諸問題調査会議委員（総理府） |
| 昭和48年４月 | 社会保障制度審議会委員（総理府） |
| 昭和48年７月 | 社会福祉法人慶福育児会評議員・理事 |
| 昭和48年８月 | ワシントン大学での日本産業化とその社会的帰結に関する国際シンポジウムに参加し報告・討論 |
| 昭和50年４月 | 上智大学非常勤講師　日本社会事業大学非常勤講師 |
| 昭和50年８月 | 原爆被爆者生活実態調査を再び広島で行う |
| 昭和50年10月 | 婦人問題企画推進会議委員（総理府） |
| 昭和50年 | 日本生活学会研究会担当理事　東京都家内労働対策研究会議委員 |
| 昭和51年４月 | 日本女子大学文学部社会福祉学科非常勤講師 |
| 昭和51年 | 社会福祉研究所理事 |
| 昭和52年10月 | 東京大学経済学部非常勤講師 |
| 昭和53年12月 | 第４回今和次郎賞受賞 |
| 昭和54年８月 | 原爆被害の全体像に関する研究会（於一橋大学）の席上，脳出血で倒れ国家公務員共済組合立川病院に入院 |
| 昭和54年11月 | 伊豆韮山温泉病院に転院し療養（昭和55年４月まで） |
| 昭和56年１月 | 社会福祉審議会臨時委員（東京都） |
| 昭和56年３月 | 統計審議会国民生活・社会統計部会専門委員（行政管理庁） |
| 昭和56年４月 | 労働審議会委員（東京都） |
| 昭和57年４月 | 放送大学開学準備委員会委員 |